

平成30年度第6回理事会議事録

1. 期 日 平成30年12月2日(日) 10時00分から13時00分まで

2. 会 場 青森市民病院3階大会議室

参加者	総数	参加率%
10	13	77%

船水憲一	佐藤兼也	森脇公洋	福士正広	成田将崇	石倉牧人	川村匡敦	西村秀行
○	○	○	○	×	○	○	○

三浦隆司	澤橋政美	岩瀧昌善	小澤友昭	大湯和彦	監事	稲葉孝典	土佐鉄雄
×	○	○	○	×		○	○

船水憲一会長が議長を務め、議事録作成人に森脇公洋副会長、議事録署名人に佐藤兼也副会長を指名、理事会を開催した。

1. 内 容

【報告1】 理事会報告

森脇副会長から正副会長・常務理事業務執行報告(報1)について説明があった。

【報告2】 中間監査(11月23日)について

森脇副会長より事業報告(報2_1)があった。稲葉監事から第1回理事会議事録の記載不備が指摘され修正を求められた。また県原子力防災訓練六ヶ所会場の写真の提供があったので追加することとした。財務会計については、福士常務理事から資料(報2_2)に沿って報告があり、了承された。

監事より、「理事間のメール処理について分かるようにすること」、「重要な緊急な事項は電話連絡も行うこと」、「常務理事の役割分担を再確認して、業務執行を行うこと」の口頭による指摘あり。

会長より、「業務分担について次回の理事会までにはっきりさせたい」と返答。

【報告3】 第1回東北地域会長・教育委員合同会議について

船水会長より資料(報3)に沿って報告があった。

開催は11月2日 盛岡市アイーナ会議室802、本会から船水会長・石倉常務理事が出席

報告書の中で、報告者から言及があったものは

報告③現在行われている統一講習会は技師養成課程の変更に伴うものであるため、平成31年度卒業生からは受講免除となるが、留年等により卒業年度が31年になった場合は免除対象とはならないので、注意が必要(入学年度に注目するとよいか?)。また、今後読影補助等の業務拡大の案件もあり、別カリキュラムの統一講習会が予定されていることから、受講者を増やしていく必要性が示唆された。

第8回東北大会については、昨年同様、演題名に「？」が付いたものは修正を求めたが、今後明確な規定を作成し対応すべきとの意見があった。

第9回東北大会について、日程・人事の報告があった。

第36回日本診療放射線技師学術大会(2020年10月)が仙台で開催される。

【報告 4】第 8 回東北放射線医療技術学術大会について

船水会長より報告があった。学術奨励賞は審査の結果、資料報 4 のように選考した。因らずも各県 1 名となった。参加人数は資料 3 を参照。

【報告 5】青森県原子力防災訓練（第 2 回調整会議・避難退域時検査及び簡易除染に係る事前打ち合わせ）

佐藤副会長から第 2 回調整会議（10 月 12 日）、森脇副会長から避難退域時検査及び簡易除染に係る事前打合せ（11 月 8 日）と訓練（11 月 10 日）の様子、船水会長から訓練の様子について報告があった。訓練参加者から訓練の質の低下が懸念される発言があった。医療薬務課から訓練のアンケート提出が求められているので、森脇副会長が期限までに取りまとめ報告する。

【報告 6】青森県原子力災害医療研修（基礎・避難退域時検査及び簡易除染・医療機関の対応）

森脇副会長より基礎講習（10 月 9 日）、実践研修（10 月 10 日、27 日）、合わせて、青森県立中央病院主催の原子力災害医療研修会（11 月 9 日）の報告があった。

【報告 7】第 24 回 CT・MRI 診断技術研究会について

佐藤副会長より報告があった。参加者は 95 名（医師 11 名、賛助会 2 名を含む）となった。

【報告 8】第 33 回青森県放射線治療技術研究会について

澤橋理事より報告があった。11 月 10 日に弘前で開催。秋田県からの非会員を含む診療放射線技師 58 名、賛助会員や医師が 24 名、合計 82 名の参加者があった。退職者の記念講演は須崎元理事。来年は青森市、会場は県立中央病院を予定。この研究会への技師会からの拠出はない。

【報告 9】第 6 回青森県 CT 研究会について

小澤理事より報告があった。参加者は 87 名。今年から共催メーカーが変更となった。メールアドレスによるメーリングリストを作成して情報提供に活用する。メールアドレス活用の承諾があった会員については、本会が管理しているアドレスを提供する。

【報告 10】JART 表彰について

森脇副会長より報告があった。澤橋理事が事務手続きを担当して行った。対象者 8 名に連絡をして、4 名から受賞の意思表示があり、JART に推薦した。2 年連続して書面を郵送しても連絡がなかった 1 名については、受賞辞退として取り扱ってよいかを諮り、了承された。

【報告 11】その他

来年度の県学術大会、総会、フレッシュャーズセミナーについて、2019 年 6 月 15 日にフレッシュャーズセミナーをユートリーで行う。会場は確保済みで会場費は 19,000 円だった。翌 16 日は八戸市立市民病院で県学術大会と総会を行う。会場確保等については石倉常務理事に依頼した。

【検討 1】第 132 回青森県 MRI 研究会について

平成 31 年 1 月 26 日八戸市ユートリー 8 階多目的中ホールで行う。佐藤副会長より教育講演の謝金を、特別講演を担当するバイエルに合わせて、5 万円としてよいか提案があり、規程により会長特例として支出することとした。

【検討 2】一般撮影勉強会に関して

船水会長より、リクエストセミナーの提案があった。開催日を 2 月 2 日（土）午後とし、会場を青森市民病院大会議室とした。内容は一般撮影とマンモがテーマに上がった。

【検討 3】青森県生活習慣病検診従事者講習会について

稲葉監事より資料の提示を交えて提案があり、3 月 2 日（土）開催とし、会場は青森市民病院とした。

時間帯については、講師を予定している先生と調整することになった。

【検討 4】その他

- 公益目的支出計画実施報告書等の作成に関する説明会への派遣
事業報告等に係る提出書の作成に関する説明会（公益法人）が県庁で平成30年12月19日（水）開催の案内がきていた。出席者名簿の提出が12月11日のため、12月8日までに森脇副会長まで出席する役員は連絡することとし、取りまとめて森脇副会長が県に提出することになった。川村常務理事、福士常務理事が出席予定。
- 給与調査のお願い
船水会長から、本調査に対する協力願いがあった。
- 放射線管理被ばく関連勉強会（リーダー研修会）
講師は工藤元監事に依頼することとなり、開催日は工藤元監事と調整することとなった。
- DBS（深部脳神経システム）に関しての告知
DBSを装着している方は県内に70名ほどいるとされており、CT検査に対する注意喚起を申し合わせた。関連して、このほかにも放射線診療領域において注意すべきインプラント等の情報があり、医療安全をテーマとしたグループの立ち上げが必要という認識に至り、佐藤副会長を軸に進めることにした。
- X線CT、MRIの保守点検義務化
医療安全責任者、保守点検が義務化された。
- 津軽核医学懇話会の技師会共催について、今後協議する。
RIに関する研究会、津軽核医学懇話会、あすなる研究会、青森県核医学研究会等について学術委員会RI部会などに集約の検討については、新たな情報がなかったため、持越案件とした。
- 今後の会議日程について
2月2日午前に理事会を開催することを決定した。3月2日の常務理事会については、当日の研修会の予定を勘案して決定することにした。

【議案 1】新入会員の承認

福士常務理事より、資料の提示があり、申請のあった2名の入会を承認した。

【議案 2】その他

- 東北デジタル医用画像研究会共催のお願い
共催に異論は出なかったが、会としての存在を確認できる会則等の提示を求め、了承した。
- 日本医用情報専門技師会の支援団体について
川村常務理事より提案あり。東北大学・志村さんから趣意書を準備してもらい、それを確認してから検討する。
- マンモベストの貸し出しについて
つがる総合病院・川嶋会員より提案あり。施設への貸し出しを行って、マンモ撮影の習得に役立てて欲しい。まずは、貸し出し施設について、ホームページより募集を行う。

以上

本書は議事録に相違ない。

平成30年12月15日

青森市安方二丁目 17 番 15-802 号
ライオンズマンション新町通
公益社団法人 青森県診療放射線技師会

議事録作成人 森 脇 公 洋

議事録署名人 佐 藤 兼 也

代表理事 船 水 憲 一

監事 稲 葉 孝 典

監事 土 佐 鉄 雄